

# ☀️ 乳児健診

4月27日と5月11日、保健センターで行なわれた4カ月児を対象とした乳児健診での様子を紹介します。

## 「だっこ だっこ」の世界へ

健診の待ち時間に、市立図書館の職員や読み聞かせグループの人が「だっこ だっこ」や図書館で貸し出している絵本の中から赤ちゃんが好むものを選んで、読み聞かせを行っていました。



読み聞かせを行うことで、お母さんたちも一緒に、赤ちゃんの反応を見ながら絵本を開く時間の楽しさを体験してもらい、家庭でも読み聞かせの時間を持つきっかけにしたいとのねらいがあるのです。

実際、絵本はまだ早いかもしれないと言うお母さんたちの言葉をよそに、「だっこ だっこ」を広げ読み出すと、赤ちゃんは声のする方にとときどき顔を向けながらじっと絵を見つめ、「だっこ だっこ」の世界に入り込んでいました。中には、笑顔を見せる赤ちゃんもいました。そしてお母さんは、初めて絵本に触れた赤ちゃんが見せる表情や反応に驚きながら、絵本の力、読み聞かせの大切さを認識していました。

## 「だっこ だっこ」をプレゼント

「だっこ だっこ」の配布は、生後4カ月児を対象にした乳児健診会場で行っています。

健診では、子どもの成長段階でのさまざまな健康検査や育児相談を行っています。

その待ち時間を利用して親子の写真と手形をとり、健診終了時に、その写真や手形を入れ込んだ、世界にたった一つのオリジナル絵本「だっこ だっこ」が全員にプレゼントされます。





### 読み聞かせ

健診終了後は、子育て・子ども課の職員や読み聞かせのグループの人から読み聞かせについての話がありました。

「子どもに絵本を読んでもつなぐだけではありません。そこには、お母さんのお腹にいたるときから聞いてきた、感じてきたお母さんの鼓動、声、温かさ、心地よさを感じ、子どもにとって心身ともに丸こととの愛情を感じていられる時間があります。また、お母さんにとっても、ゆつくりと癒

される時間にもなります。絵本を読んであげることによって、子どもがいつそう愛しく思えるようになり、親子の絆も深まります」と読み聞かせの効果の説明や、「生後4カ月の赤ちゃんには、言葉の意味はまだ分かりません。大事なことは、読んで聞かせること。お母さんの愛情をたつぷり注ぐことです」などという話しに、参加したお母さんたちは真剣に耳を傾けていました。

### 図書館にも絵本が いっぱいあるよ

読み聞かせをすることで、スキンシップの大切さを感じてもらい絵本に興味を持ってもらった後、図書紹介や図書館の利用案内が行われていました。

図書館には、赤ちゃんの絵本コーナーを設け多くの絵本が置いてありますが、小さい子どもを持つお母さんの利用はあまりないといいます。

図書館で子どもが泣いたりぐずったりするかもしれない、本を傷めてしまったりは大変との心配もあり、小さい子ども

を連れては図書館に行くことができないというお母さんや、どんな絵本を選んでいいかわからないというお母さんが多いようです。

そんなお母さんのために、図書館職員が、図書館には授乳室を設けていることや読み聞かせができるおはなしの部屋があることなど、小さい子どもを持つお母さんでも気軽に利用できることを丁寧に説明していました。

また、0歳からのお薦めの絵本が保健センターの一角に展示してありました。お母さんたちは、図書館の利用方法や絵本の読み聞かせの説明を受けた後、思い思いに展示してある絵本を手にとって読んでいました。

